

# 平成30年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月11日

上場会社名 株式会社ティムコ  
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年11月期第3四半期の業績(平成29年12月1日～平成30年8月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	2,253	4.9	38		43		26	
29年11月期第3四半期	2,148	0.9	6		4		2	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	10.76	
29年11月期第3四半期	0.99	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年11月期第3四半期	5,595	4,816	86.1	1,944.82
29年11月期	5,779	4,823	83.5	1,947.54

(参考)自己資本 30年11月期第3四半期 4,816百万円 29年11月期 4,823百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		12.00	12.00
30年11月期		0.00			
30年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,022	4.9	49		50		34		13.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期3Q	3,339,995 株	29年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	30年11月期3Q	863,445 株	29年11月期	863,444 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期3Q	2,476,551 株	29年11月期3Q	2,476,553 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)における日本経済は、大手企業の生産活動や個人消費の底堅さを背景に需要の緩やかな回復がみられたものの、原油価格の上昇や人手不足による人件費の上昇、保護貿易主義への警戒等の懸念要素が企業の景況感を下押しする状況となりました。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに、例年よりも冬の気温が低下した影響等により景況が左右される展開となりました。

また6月以降は夏の記録的猛暑や台風災害等の影響も加わって、外出を手控えるなど下押し要因が重なり、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では販売体制及び収益基盤の強化に取り組んだ結果、当第3四半期の売上高は22億53百万円(前年同期比 4.9%増)となりました。また、売上高の増加に連動した売上総利益が増加したことにより、営業利益は38百万円(前年同期間 営業損失 6百万円)、経常利益は43百万円(前年同期間 経常損失 4百万円)、四半期純利益は26百万円(前年同期間 四半期純損失 2百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### (フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、冬期間の強い冷え込みや春以降の豪雨や猛暑等により、釣り人がフィールドに足を運ぶ機会が減少したことや、市場低迷の影響を受け全般に販売が伸び悩みました。

ルアー用品に関しては、ルアー(擬似餌)やフィッシングロッド(釣竿)等の新製品投入効果やインターネットを活用した動画配信等による販促活動が奏功し、売上高は堅調に推移しました。一方、フライ用品に関しては、参加人口の伸び悩みや折からの市場低迷の影響を受けて販売が苦戦いたしました。

その結果、当第3四半期におけるフィッシング事業の売上高は、7億32百万円(前年同期比 1.7%増)となりました。また、値下げ販売の実施等により売上総利益率が低下したものの、経費の削減に努めた結果、セグメント利益(営業利益)は1億10百万円(前年同期比 13.4%増)となりました。

#### (アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、秋冬シーズン初頭からの低温傾向により、ジャケットなどの防寒重衣料の販売が好調に推移し、売上を牽引いたしました。春以降においてはインターネットを活用したプロモーションを重視し、防虫衣料「スコーロン」製品の知名度の向上や販売促進に注力いたしました。

その結果、当第3四半期におけるアウトドア事業の売上高は、14億96百万円(前年同期比 6.6%増)となりました。また、売上総利益率が向上したことにより、セグメント利益(営業利益)は99百万円(前年同期比 49.5%増)となりました。

#### (その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期に関しては、その他売上高は24百万円(前年同期比 0.3%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は18百万円(前年同期比 1.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億83百万円減少し55億95百万円となりました。

流動資産は、有価証券が償還時期を迎えたこと等による減少1億円や受取手形及び売掛金の減少54百万円、商品及び製品の減少51百万円、現金及び預金の減少47百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億53百万円減少し、39億15百万円となりました。

固定資産は、有形及び無形固定資産等の減価償却等による減少56百万円などの一方で、投資有価証券の取得による増加1億円などの影響により、前事業年度末に比べ69百万円増加し、16億80百万円となりました。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億76百万円減少し7億79百万円となりました。

流動負債は支払手形及び買掛金の減少1億27百万円や未払消費税等の減少28百万円、返品調整引当金の減少14

百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億79百万円減少し、5億45百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が11百万円減少した一方で、退職給付引当金の増加9百万円や長期資産除去債務の増加5百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3百万円増加し2億34百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、48億16百万円となりました。これは主に、四半期純利益26百万円の発生などの一方で、前事業年度決算の配当支出29百万円やその他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年7月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,031,698	1,984,077
受取手形及び売掛金	565,002	510,703
有価証券	100,030	-
商品及び製品	1,420,311	1,368,388
その他	56,302	55,056
貸倒引当金	△4,167	△2,445
流動資産合計	4,169,178	3,915,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	570,645	558,217
土地	653,376	653,376
その他(純額)	22,170	19,630
有形固定資産合計	1,246,192	1,231,224
無形固定資産	37,666	25,406
投資その他の資産		
その他	327,504	423,474
貸倒引当金	△1,149	-
投資その他の資産合計	326,355	423,474
固定資産合計	1,610,214	1,680,105
資産合計	5,779,393	5,595,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	507,383	379,766
未払法人税等	27,659	20,638
返品調整引当金	27,576	13,404
賞与引当金	-	10,747
その他	162,412	120,693
流動負債合計	725,031	545,250
固定負債		
退職給付引当金	132,412	142,069
その他	98,778	92,127
固定負債合計	231,190	234,196
負債合計	956,221	779,447
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	339,641	336,578
自己株式	△478,033	△478,034
株主資本合計	4,803,055	4,799,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,116	16,446
評価・換算差額等合計	20,116	16,446
純資産合計	4,823,171	4,816,437
負債純資産合計	5,779,393	5,595,885

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	2,148,232	2,253,182
売上原価	1,163,757	1,223,463
売上総利益	984,475	1,029,719
返品調整引当金戻入額	28,551	27,576
返品調整引当金繰入額	18,890	13,404
差引売上総利益	994,136	1,043,890
販売費及び一般管理費	1,001,107	1,005,739
営業利益又は営業損失(△)	△6,971	38,151
営業外収益		
受取利息	754	987
受取配当金	931	972
為替差益	30	2,452
その他	471	685
営業外収益合計	2,187	5,097
営業外費用		
支払利息	73	-
その他	93	69
営業外費用合計	166	69
経常利益又は経常損失(△)	△4,950	43,179
特別利益		
事業譲渡益	7,700	-
固定資産売却益	-	18
特別利益合計	7,700	18
特別損失		
固定資産除却損	-	280
特別損失合計	-	280
税引前四半期純利益	2,749	42,916
法人税、住民税及び事業税	10,624	15,679
法人税等調整額	△5,425	582
法人税等合計	5,198	16,261
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,449	26,655

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	720,197	1,403,789	2,123,986	24,246	—	2,148,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	720,197	1,403,789	2,123,986	24,246	—	2,148,232
セグメント利益又は損失(△)	97,148	66,304	163,453	18,087	△188,511	△6,971

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△188,511千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	732,525	1,496,486	2,229,012	24,170	—	2,253,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	732,525	1,496,486	2,229,012	24,170	—	2,253,182
セグメント利益	110,166	99,110	209,277	18,262	△189,388	38,151

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△189,388千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。